

平成29年6月 鴻巣市議会定例会一般質問

質問日平成29年6月14日（水）

質問順位1 菅野 博子 （一問一答式）

1 都市整備行政

(1) 鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業

ア 本町1丁目2829-4番地と無地番の土地を含む権利変換について

(ア) 市が職権で公図訂正の申出をした「課税上の支障（地方税法第381条第7項）とは何か

(イ) 土地の面積が変われば課税額が変わる。他にも多くの登記簿と実際の違いがあるのでこれらも職権で行うべき

(ウ) 課税上の評価判断を「市街地整備課」に窓口を一本化して全責任がとれるか（土地課税台帳、家屋課税台帳の適正な実態把握）

イ 公道上を通過のデッキは作らないこと

ウ 公費投下額とそれに値する公共性を問う

2 学校教育行政

(1) 中学校の制服

ア 本来「標準服」である。着やすく買い替が楽なものに。ガイドラインに沿った色やスタイルでパンツ、スカート、シャツで十分。夏服の上はポロシャツのみ、女子のスラックスも認めること

イ 現状を維持するなら制服のリサイクルを住宅棟4階の一室を利用し、近隣の中・高の制服の販売ができないか

3 健康づくり行政

(1) 国保対象者の特定健診・ガン検診の無料化

(2) 鴻巣市以外の医療機関でもかかれるように

4 市民行政

(1) 同和対策の終結を

ア 2016年度2団体が申請せず4団体となった。本市は属人主義であり混住が進んだ現状で同和対策は終結すべき

イ 破格の補助金が出されている。活動の多くが総会、研修会であり活動費の82～100%が補助金の実態は異例です。市民の理解は得られない（総額3,938,300円 53世帯 一世帯平均74,300円）

ウ 人権啓発リーフレットでの同和に関する文言は現状と合わない。法務省の見解や全国人権連の報告2016年8月28日のさいたま地裁の判決に沿って見直すこと

5 地域活性化特命行政

(1) こうのとりのとり

ア こうのとりの里作り事業費が平成29年度6,853千円、30年度5,000千円、31年度10,000千円計上されている。ワンペア(2羽)からはじめ6羽放鳥をめざすとされている。豊富な餌生物と豊かな里山が必要。本市の具体的な事業方針を問う

質問順位2 金子 雄一 (一括質問・一括答弁式)

1 企画行政について

(1) ふるさと納税について

ア 本市の捉え方
イ これまでの受入れ状況
ウ 返礼品等の対応状況とその評価は
エ 国の動向に伴う対応策
オ 企業版ふるさと納税に関する状況
カ 今後の方向性

2 都市整備行政について

(1) 上尾道路について

ア 進捗状況
イ 本年度の予算措置と配分状況等
ウ 市民・地権者への対応状況
エ 問題点等
オ 今後の動向

3 環境経済行政について

(1) こうのす花まつりについて

ア 開催にあたっての基本的方針
イ 総括内容
ウ 運営上の問題点
エ 改善策
オ 今後の方向性

質問順位 3 川崎 葉子 (一問一答式)

1 企画行政

- (1) 女性の視点を生かした防災対策について
 - ア 女性視点の防災ブックについて
 - イ 家庭でできる防災対策について
 - ウ 女性視点の防災フォーラムを行う考えはあるか
 - エ 避難所の備蓄に女性の声が反映されているか
 - オ 障がい者を守る災害時支援バンダナの作成・配布を
- (2) 水害対策について
 - ア エリアメール配信について
 - イ 市民の避難についてどう考えるか

2 健康づくり行政

- (1) 胃がんリスク検診としてピロリ菌検査の導入を
 - ア 中高年への対策
 - イ 若年世代への対策
- (2) 肝炎対策推進について
 - ア 本市の実態把握と陽性者への対策は
 - イ 肝炎陽性者フォローアップ事業について
- (3) 高齢者が元気に活躍できる制度について
 - ア 介護支援ボランティアポイント事業の実施を

質問順位 4 潮田 幸子 (一問一答式)

1 総務行政

- (1) アクティブシニアの社会参加促進の取組
 - ア シニア世代男性の社会参加の現況
 - イ 健康マージャン等による地域デビューのきっかけづくり支援

2 福祉こども行政

- (1) 多子世帯支援の積極的取組
 - ア 多子世帯支援の現況
 - イ 鴻巣市オリジナルの多子世帯支援をどのように展開する考えか

3 学校教育行政

- (1) 就学援助入学準備金（新入学児童生徒学用品費）支給時期の見直し
 - ア 就学援助支給の現況
 - イ 新入学児童生徒学用品費の現況
 - ウ 前年度前倒し支給の対応は可能か
- (2) 発達障がいの子どもたちへの支援拡充をどう図るか
 - ア 就学前の子どもたちへの支援
 - イ 5歳児健診後の保護者への支援・教育相談
 - ウ ウイング・ステップ等通級指導教室
 - エ 通級指導教室には通わないが、配慮を必要とする児童・生徒への支援
 - オ 個別の支援内容・指導方針・状況等の引継ぎ及び連携
 - (ア) 進級時の担任間
 - (イ) 進学時小学校担任と中学校担任間
 - (ウ) ウイング・ステップ間
 - カ 支援する側の人材育成
 - キ 発達障がいの子どもたちに関わる庁内各課間の連携及び他関係機関との連携をどう図るか

質問順位 5 中野 昭 (一問一答式)

1 福祉こども行政

- (1) (仮称)吹上コスモス保育園について
 - ア 事業を中断している理由について
 - イ 事業再開の今後の見通しについて
- (2) 小谷放課後児童クラブについて
 - ア 民設・民営に至るNPO法人スマイルキッズとの協議経過について
 - イ 運営費補助金について
 - ウ 保育料について
 - エ 処遇改善事業、キャリアアップ処遇改善事業等国庫補助金について

2 学校教育行政

- (1) 多忙化する教職員の労働条件改善について
 - ア 市内小中学校の教職員で勤務時間を除く在校時間での最長時間について
 - イ 勤務時間を除く在校時間の長時間労働の原因について

- ウ 教職員の長時間労働の改善について
- エ 文部科学省の「学校現場における業務の適正化に向けて」について
- オ 長時間労働の改善に対する県教育委員会・市長部局への働きかけについて

3 総務行政

(1) 再任用制度について

- ア 再任用に関する条例第3条第1項の勤務実績が良好について
- イ 公的年金支給開始とのリンクについて